

## 第3学年 国語科学習指導案

1 題材名 おくのほそ道 ～平泉～

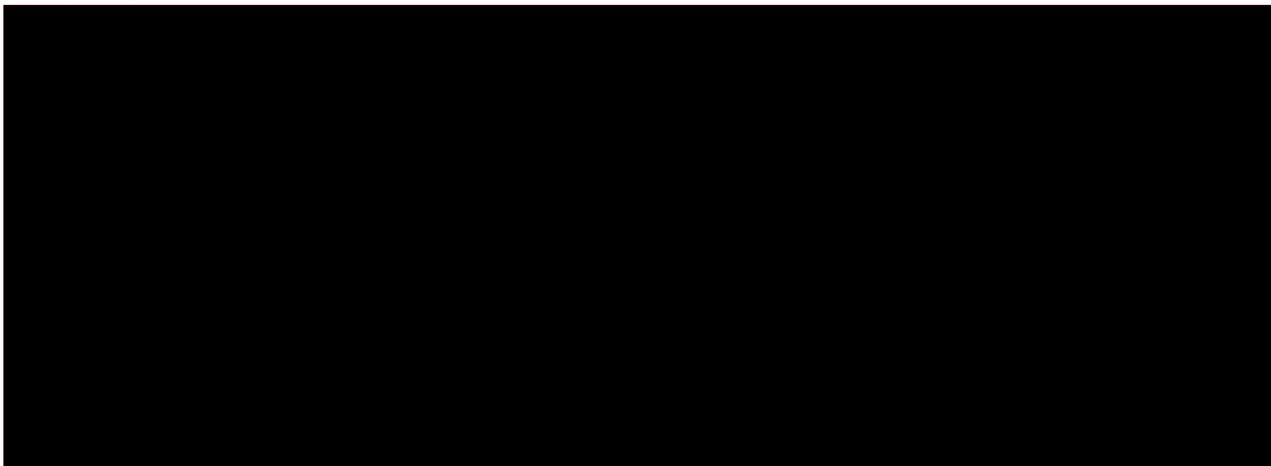
- 2 学習目標
- ・「旅」に込められた作者の思いを通して、人間の生き方について考え、自分の考えを書くことができるようになる。(書く能力)
  - ・作者の心情をとらえられるようになる。(読む能力)

3 指導上の立場について

(1) 題材について

『おくのほそ道』は、江戸時代の俳人、松尾芭蕉によって書かれた和漢混淆文の流れをくむ格調高い紀行文である。芭蕉の代表作として知られ、時代を超えて愛される作品ではあるが、漂泊の思いなど、現代の中学生には理解しがたい部分もある作品である。それには、芭蕉や古人にとっての「旅」と、現代の「旅」との認識に大きな差があることが考えられる。まず、芭蕉の「旅」への思いを十分に理解させることが、本作品のよさを味わわせる前提となる。

(2) 生徒の実態について



(3) 題材観

本時で取り上げる「平泉」は藤原三代の栄華の跡地である。自然の悠久さ、時の流れの無常さと、人間の営みのはかなさに芭蕉は涙を流す。漢文調であり、時代背景も複雑であるため、現代の中学生にとってはなかなか想像ができず、理解し難い部分もあると思われる。しかし、自分たちで調べて発表し、また、他の人の発表を聞くことにより、少しでも芭蕉の思いに迫ることができればと願っている。自然の悠久さと人間の営みのはかなさは現代でも変わらずにあるということに気づき、人間の生き方について考えさせるためのよき題材である。

#### 4 指導計画（全11時間扱い）

第一次（3時間） 『月日は』について学ぶ

第1時 『おくのほそ道』、松尾芭蕉について学ぶ。

第2時 「月日は」についての音読練習をする。

「月日は」の内容をおさえる。

第3時 「旅」について、現代人との認識の違いを理解する。

第二次（7時間） 『平泉』について学ぶ

第1時 本文の確認、音読。

第2・3時 調べ学習『平泉新聞』を作る。

3人1組でB4版で新聞を作る。調べる箇所はこちらが指定する。

全9グループ。

第4・5時 3回に分けて『平泉新聞』の発表会をする。質疑・応答を含む。

第6時（本時） 『平泉新聞』の発表会をする。俳句の解釈をする。

第7時 『平泉新聞』を使い、もう1度本文を読み取り、俳句の通釈をする。

第三次（1時間） 感想をまとめる

・プリント・ワークを使い、基本的な語句の意味や本文の内容について確認をする。

・松尾芭蕉の生き方と自分の生き方とを比較し、自分の考えを書く。

5 本時案（第二次の第6時）

目 標	○背景を理解して俳句を味わう。（読む能力）	
学習活動・内容	教師の支援と配慮事項	評価の観点
<p>1 本時の目標を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">背景を理解して、俳句を味わおう</div> <p>2 俳句の背景について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に発表した1～6班の『平泉新聞』への質問に答える。</li> <li>・7～9班の『平泉新聞』を発表する。</li> <li>・質問をする。</li> </ul> <p>3 グループ毎に2句の俳句の解釈について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏草やつはものどもが夢の跡」「卯の花に兼房見ゆるしらがかな」の2句の解釈について、各グループで話し合う。</li> <li>・ワークシートに記入する。</li> </ul> <p>4 本時のまとめと次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを提出する。</li> <li>・授業評価カードを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく、スムーズに発表できるように、教材提示装置を使う。</li> <li>・説明を聞く生徒たちは質問ができるように、疑問点をメモすることを指示しておく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導のポイントとして、 ①解釈に困っている生徒には『平泉新聞』を参考に考えるよう助言する。 ②グループ内の話し合いが、解釈を深めているかに留意しながら支援する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2句についての簡単な解釈をする。</li> <li>・次回の課題となった質問を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習準備の確認 (関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○聞き手にとって、わかりやすい発表をしたり、疑問点を整理して発表したりできているか。 (話すこと)</p> <p>○背景を理解し、俳句の解釈ができているか。(読む能力)</p>

6 本時の評価・・・的確な説明や、質問をすることができたか。

背景を理解し、俳句の解釈ができたか。